

篠原幸雄からやましたゆきおへ

マンガと生きた50年

12

TV特撮&アニメのコミカライズ



ネット配信版・新つれづれ草に掲載の「マンガと生きた50年」は、東京都江東区・森下文化センターにて2017年10月20日(金)から29日(日)の会期で開催しました。新つれづれ草マンガ展「篠原幸雄からやましたゆきおへ マンガと生きた50年」で展示した展示物を再構成したものです。

おやしマンガ同人誌

つれづれ草

マンガ展

篠原幸雄からやましたゆきおへ

マンガと生きた50年

おやしマンガ同人誌「新つれづれ草」の山下幸雄は1970年少年ジャンプから篠原幸雄としてマンガ家デビューその後、マンガ家、デザイナー、編集者としての立場を変えながらマンガとの関わりを持ち続けて生きてきた。そして今再び、やましたゆきおとしてマンガを描き始めた！

入場：無料



イラスト：篠原幸雄
(著者少年ジャンプの連載「男の子の犬」)

日時：10月20日(金)～10月29日(日)
午前9時より午後9時まで(最終日は午後5時まで)

会場：森下文化センター1F展示ロビー
お問合せ：森下文化センター
〒135-0004 東京都江東区森下3-12-17
TEL03-5600-8666 FAX03-5600-8677
都営地下鉄新宿線・大江戸線「森下」駅A6出口より徒歩8分
都営大江戸線・東京メトロ半蔵門線「清澄白河」駅A2出口より徒歩8分
<http://www.kcf.or.jp/>

主催・新つれづれ草 共催・森下文化センター





12、TV特撮&アニメの コミカライズ

TV番組の特撮やアニメ作品をマンガ化して幼年向き雑誌に描く仕事は、つれづれ草の仲間には比較的早くから活躍している人もいて、本屋で見かける度に羨ましく思っていました。

私はつれづれ草の仲間の誰よりも絵が下手なので、こういう仕事はとても出来ない、という劣等感を持っていました。でも自分は、マンガのテーマや演出は誰にも負けない自信があり、だからマンガ家としてなんとかやっていけるんだ。と、そんなふうに関自分の劣等感をごまかして生きていました。

三人社のこと

少年ジャンプとのこと、秋田書店とのこと、ふしぎな仲間たちとのこと、みなうまくいかならず、毎日印刷屋に通いながら借金返済のために仕事をしているころ。巣鴨に「つれづれ草」の仲間の、かたおかくん、おだくん、高岡くんの三人が、「三人社」というマンガスタジオを作ったという話を聞いて訪ねたことがあった。

おださんの机の前に日本地図がはってあり、ところどころにマジックで赤い線がひいてあった。自転車で行ったところに赤く線が引いてあり、「自転車で日本一周するんだ」と実に楽しそうに話してくれた。

三人は、それぞれが個性のある、違うマンガの仕事をしています、楽しそうな姿がまがしかった。

たった一人で借金を返済するための仕事をしている自分と比べて、寂しく帰ったことを覚えていません。

勁文社の大百科から

「ウルトラマン大百科」の仕事

しばらくして、勁文社から「ウルトラマン大百科」の仕事の発注があった。歴代のウルトラマンの体の模様を図として描いて比較できるように

する仕事だった。三人社のかたおくんが私を紹介してくれた仕事だったと、後日聞いた。勁文社とは以前から仕事はしていて、つり百科のしかけの図や鉄道百科の電車の図の仕事もらっていた。

「ウルトラマン大百科」勁文社発行



「てれびくん編集部」から

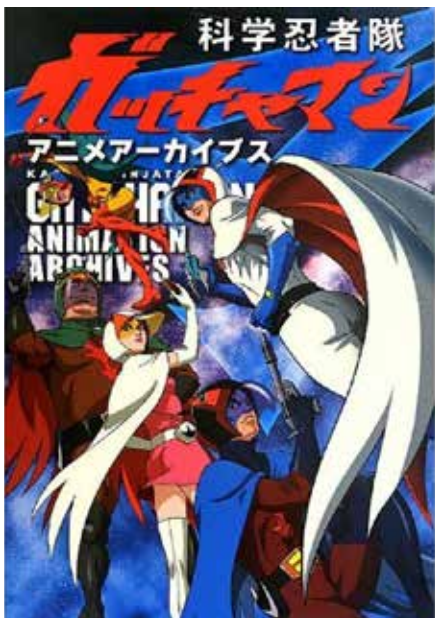
『科学忍者隊ガッチャマン』の第1話

「ウルトラマン大百科」の歴代のウルトラマンの模様図解を見た、小学館「てれびくん編集部」から『科学忍者隊ガッチャマン』の第1話を読切で描く仕事 came 。

当時はまだ家庭用のビデオがあまり普及していなかったので、編集部に行って8ミリフィルムを上映してガッチャマンを見ることができました。TVの本放送を見ていなかったもので、アニメのガッチャマンを見たのはそれが初めて最後でした。資料はシナリオと設定画だけでした。編集部からの帰りに神保町の古本屋でアメリカンコミックのヒーロー物を何冊か買って帰り、絵柄やタッチを研究しました。

てれびくん 1978年3月号に科学忍者隊ガッチャマン第1話は読切として掲載されました。2013年8月に小学館から発行された「科学忍者隊ガッチャマンアニメアーカイブス」に、復刻掲載として全ページが再録されました。

ガッチャマン第1話のマンガ化は、私一人でアメリコミを見ながら必死になって描いたもので、仕上げのレベルがどうだったか全く自信がありませんでした。



ガッチャマンIIを連載する

同じ年の秋から「科学忍者隊ガッチャマンII」の放映が始まり、てれびくん に1978年10月号から1979年7月号まで10回にわたり連載しました。

当時仕事場と一緒にしていたスタジオ・オズ、アニメイラストレーターのけだまさんに、キャラクター監修をしてもらい、よりアニメのキャラクターに似た絵にすることができました。

「科学忍者隊ガッチャマンII」は絵柄をアニメのキャラクターに近づけられたこともあり、私としては、自信作でした。

後年、私のガッチャマンのファンという方とお話する機会があったときに、その方から「他のど

の作家が描いたどのガッチャマンより、私が描いたてれびくんのガッチャマン第1話が一番良かったです」と聞くことができ、私ももっと自信を持つてもいいのかなと思いました。

私のガッチャマンシリーズはその後電子書籍として発行されましたが、今はそれも絶版となっています。



電子書籍版「科学忍者隊ガッチャマンII」グループ・ゼロ発行

文・新つれづれ草第7号掲載「つれづれインタビューマンガびと」より抜粋加筆